**定例記者会見発言録**

日　　時：令和７年２月19日（水）14時00分～

場　　所：伊達市役所東棟４階　401・402多目的会議室

出　　席：市長、副市長、総務部長、未来政策部長、財務部長、市民生活部長、

　　　　　健康福祉部長、産業部長、建設部長、建設部理事、危機管理担当参事、

健康対策担当参事、教育部生涯学習課スポーツ推進係長、

こども部こども未来課企画管理係長

報道機関：福島民報社、福島民友新聞社、読売新聞社

発表項目：市長から下記の内容について、別紙資料により説明

資料１　令和７年伊達市議会定例会第２回定例会議提出議案概要

資料２　2025 紅屋峠千本桜まつりを開催

資料３　「第63回伊達ももの里マラソン大会」を開催

《質疑応答》----------------------------------------------------------------

**令和７年伊達市議会定例会第２回定例会議提出議案概要**

**３　条例の一部改正（伊達市情報公開条例の一部を改正する条例について）**

記　　者　議案第９号について、今回、情報開示請求にこれまで市内に住所を置いている方などを対象にしていたものを、「何人も」に置き換えたのは、市外の方から情報開示請求の申請などがあって、このように表記を変えたのでしょうか。

市　　長　実際、他の自治体をみますと、「何人も」いうような表現になっているところがございますので、市としましても情報開示に制限を設けるべきではないということで判断をして今回改正ということになりました。

総務部長　今まで市としましては、市民、市内事業所、市内通勤・通学者、利害関係者以外からの請求については、任意で開示をしておりました。任意開示につきましては、許可行為や決定行為ではないことから、相手の方が不服の申立てができないということがありましたが、今回「何人も」に改正することにより、市民と同じ扱いをするということになりますので、情報開示に対しての審査申立てもできるようになります。

**５　補正予算**

記　　者　補正予算のところで７億7700万円の減額ということで、改めてその減額した理由と、それぞれの減額の内訳についてお聞かせください。

財務部長　まず、市県民税課税事務において、令和６年度当初に定額減税を実施されたかと思いますが、その中で定額減税できなかった分については給付をさせていただきました。そちらの方の事業完了に伴いまして５億3248万円ほど減額をしているものです。

次に、児童手当給付金ですが、児童手当制度改正に伴いまして扶助費を２

億1374万5000円減額しております。こちらは、制度改正により２ヶ月ごと

に支給するようになっていたことから、４月分の支給を当初令和６年度で支

給をするということで考えていたのですが、４月分については、令和７年度

で支給するよう国からの指示があったため、その分が不要なったことから減

額したということになります。

**６　当初予算**

**□令和７年度当初予算のポイント**

記　　者　伊達市財政構造改革プログラムに基づく予算編成ということでありますが、プログラムの策定時期、削減の具体的な目標について教えてください。

市　　長　策定につきましては、今年度策定いたしました。具体的にどこまで減らすかということでございますが、290億円を目標としています。

これまで、東日本大震災や東日本台風による災害復旧であったり、コロナ禍における多数の経済対策など、どんどん予算規模が大きくなっているという現状がありました。しかし、これからの市の財政状況を考えていきますと、効率的に予算執行するためには、収入の増加も図ってまいりますが、支出もしっかり抑えていくということが重要になりますので、目標が達成できるよう、このプログラムを進めていきたいと考えています。

**□若者支援**

記　　者　スマート農業推進事業について、今年の参加者のところに環境測定装置を設置したということで、来年度は結果ということになるのかと思いますが、主に対象となる作物やエリアは特徴があるのでしょうか。

産業部長　対象となる作物はきゅうりとイチゴです。今年度機器を設置しましたが、来年度もきゅうりの時期とイチゴの時期に10台、10台という形で想定をしています。

記　　者　それぞれの作物ごとに10台ということですか。

産業部長　今年度やっていただいた方に引き続き設置していただくということもありますし、新たに募集をして、今回の１年目の経験も踏まえて、データをより増やしていきたいと考えております。

市　　長　設置台数については10台ですけども、作付けの時期が違いますので、まずイチゴでデータを取ったら、次にきゅうりに移行してデータを取るということで、１台で２つの作物のデータを収集してもらうようになります。

　記　　者　きゅうりで使った機器をイチゴでまた使用するということでしょうか。

　市　　長　その通りです。来年イチゴに戻ってまたデータを収集します。

**□健幸支援**

　記　　者　高齢者ライフサポート事業にある「終活の支援」とは、具体的にどのようなことを行うのか教えてください。

市　　長　例えば、１人暮らしのお年寄りであったり、２人暮らしでも、どちらも高齢者の場合、もし自分に何かがあった時に、どのような対応をしてもらえるかなど、なかなか相談できるところがないというのが現実だと思います。

市として、相談窓口を設置することにより、支援を必要とする市民がどの

ような対応をしてもらいたいかという相談を受け、その情報をお預かりする

ことによって、もしもの時にはその情報に基づき、対応をさせていただくと

いうことです。

　記　　者　帯状疱疹ワクチン接種事業について、ワクチン接種費用の一部を助成するということですが、１人当たりにどれぐらいの金額を助成するのでしょうか。

健康対策担当参事　帯状疱疹ワクチンの接種につきましては、ワクチンの種類によってその接

種費用が異なりますので、これから医師会と調整いたします。市の考えとし

ましては、接種費用の半額程度を市の負担で実施していきたいと考えている

ところでますが、今後調整をしてまいります。

**□シビックプライド（地域への誇りと愛着）**

　記　　者　ふくしま三大鶏フェスの開催時期は決まっているでしょうか。

市　　長　協議会で調整をしておりますので、実質的にはまだ決まっておりませんが、夏から秋にかけての時期になってくるかと思います。

記　　者　場所はどの辺りになるでしょうか。

市　　長　場所もこれからの決定になりますが、考えられるのは、保原総合公園周辺であると思っています。

　記　　者　史跡整備保存活用事業について、梁川城址は歴史公園という話がありました。伊達高校梁川校舎の使い方が今後の課題となっているところかと思いますが、それと連動して市が整備をされるということでしょうか。

市　　長　伊達高校梁川校舎につきましては、今年で最後の在学生が卒業されるということで、県に対しまして校舎の取り壊しをしてもらったうえで、その土地を市に譲渡してもらい、市がガイダンス施設を設置するということで考えています。

**2025紅屋峠千本桜まつりを開催**

記　　者　紅屋峠千本桜がキリンビール『晴れ風ACTION』の寄附先に選ばれたとのことですが、どのような理由で選ばれたのか。また、市民等に呼びかける具体的な方法、事業等はあるのか、県内他市町村で同じような例はあるかなど教えてください。

未来政策部長　『晴れ風ACTION』につきましては、桜の植樹や保全活動を行う自治体に対し、キリンビールが活動支援を行うプログラムになっており、本市を含め全国で約90の自治体が選ばれています。缶ビールの晴れ風を購入すると、350ml　１本につき0.5円、500ml　１本につき0.8円が寄附になります。

　　　　　寄附金は80万程度の上限の中で自治体に対し支援をしたいということに

なっているようです。

また、県内での事例ですが、今回県内では伊達市の紅屋峠のほかに、喜多方市の日中線しだれ桜並木が選ばれています。

最後に市民等への呼びかけですが、市としましては、広報とホームページ等において今回の活動に対するＰＲを行っておりますし、現地でも宣伝ができるよう提案したいと考えています。

記　　者　紅屋峠千本桜まつりで『晴れ風ACTION』のツール等を使ってＰＲをする

予定はありますか。

未来政策部長　ブースやパネル等を設けるかについてはこれからになりますが、現地を訪れる方に、このようなイベントがあるというような周知はしたいと考えています。

　記　　者　『晴れ風ACTION』に選ばれたことにより、晴れ風を購入すると寄附がさ

れ、それが紅屋峠千本桜の運営に役立てられるということでしょうか。

未来政策部長　その通りです。晴れ風を購入して寄附されるものと、インターネットからの寄附で『晴れ風ACTION』の専用のホームページから、伊達市の紅屋峠を選んでクリックしていただけると、１回あたり0.5円が寄附されるシステムになっています。

**その他**

**□イオンモール伊達によるテナント説明会について**

記　　者　先日開催されたテナントの説明会では、テナントの数や開業時期について説明があったようですが、報道にある「開業時期が2026年秋ごろ」、「テナントの数は200店舗ほどを想定している」という話は、市の方に情報は入ってきていたのでしょうか。

市　　長　イオンモールの方から、説明会で具体的な開業時期や店舗数について説明があったということですが、市に対して具体的にテナントが何店舗、開業時期がいつという話があったわけではなく、新聞より情報を得たということです。

**□イオンモール伊達内のアンテナショップについて**

記　　者　イオンモール伊達のテナント説明会が先日開催されましたが、伊達市では参加されたのでしょうか。また、2023年２月18日付けの福島民報に、市ではアンテナショップの設置を目指すという記事がありましたが、現在の進捗状況や動向などを教えてください。

未来政策部長　今月開催された説明会はあくまでもテナント出店希望者ということなので、市としては参加しておりません。

産業部長　アンテナショップの進捗についてですが、市では、市内への誘客というところも踏まえ、施設内にアンテナショップの設置をできないかということで、事業者と話をさせていただいております。イオンモール伊達では、昨年ゼネラルマネージャーさんも着任をいたしましたので、どのようなコンセプトでやっていくか、テナントではなく、スペースというような形で設置ができれば良いのではないかということで、事業者と話をさせていただいているところです。

記　　者　アンテナショップの設置に向けて、これから協議をするということでしょうか。それとも、設置については既に決定しているということでしょうか。

産業部長　設置は決定事項ではありません。市では、アンテナショップという形で、スペースを設置できないかということで、現在事業者と協議をしているところです。

記　　者　アンテナショップについては、市長として設置していきたいという意向がありましたけれども、今後市長として推進していく意気込みなど教えてください。

市　　長　やはり多くのお客さんがいらっしゃいますので、伊達市としても、市の特産品とか観光名所とか、そういうところをしっかりとＰＲするための方策が必要だと思っています。その方策として、アンテナショップを開設するのかについては、開設するための条件もありますので、今後イオンモールと協議のうえで、決定をしていきたいと思っています。ただ、色々な形で市の情報を多くの皆さんに知ってもらう機会というのは、設けていく必要があると思っています。

記　　者　アンテナショップについては、協議中というような表現でよろしいですか。

　産業部長　アンテナショップというような、そういった機能を施設の中にどういった形で作るかは今協議中でございます。それがスペースになるのか、機能という形になるのかというのも含めて協議をしているところです。

**□下水道管腐食による道路陥没事故について**

記　　者　先月に、関東で下水道管の腐食により道路が陥没してしまう事案が発生しましたが、それを受けて郡山市では下水道管渠（かんきょ）の点検作業が行われています。今後、伊達市でもそのような点検などについて行う予定はありますか。

市　　長　下水道につきましては、毎年、年次計画で下水道の状況の変化についてカメラを入れて点検をしています。そういったものを今後も続けて、しっかり安全性の確認をしていきたと考えています。

建設部長　地下の埋設部ということですので、市としては下水道管にカメラを入れて調査をしているというところです。それから、水道につきましては、漏水等により道路の陥没が起こる可能性もありますので、来年度より新たに宮城県、福島県の水道事業者等と一緒に、人工衛星を使った漏水調査を共同発注し、調査を進めていく予定にしています。

記　　者　共同発注での調査というのは、先日宮城県庁で締結した水道管路の漏水調査の共同発注に関する基本合意の締結に基づくものということでよろしいですか。

市　　長　その通りです。